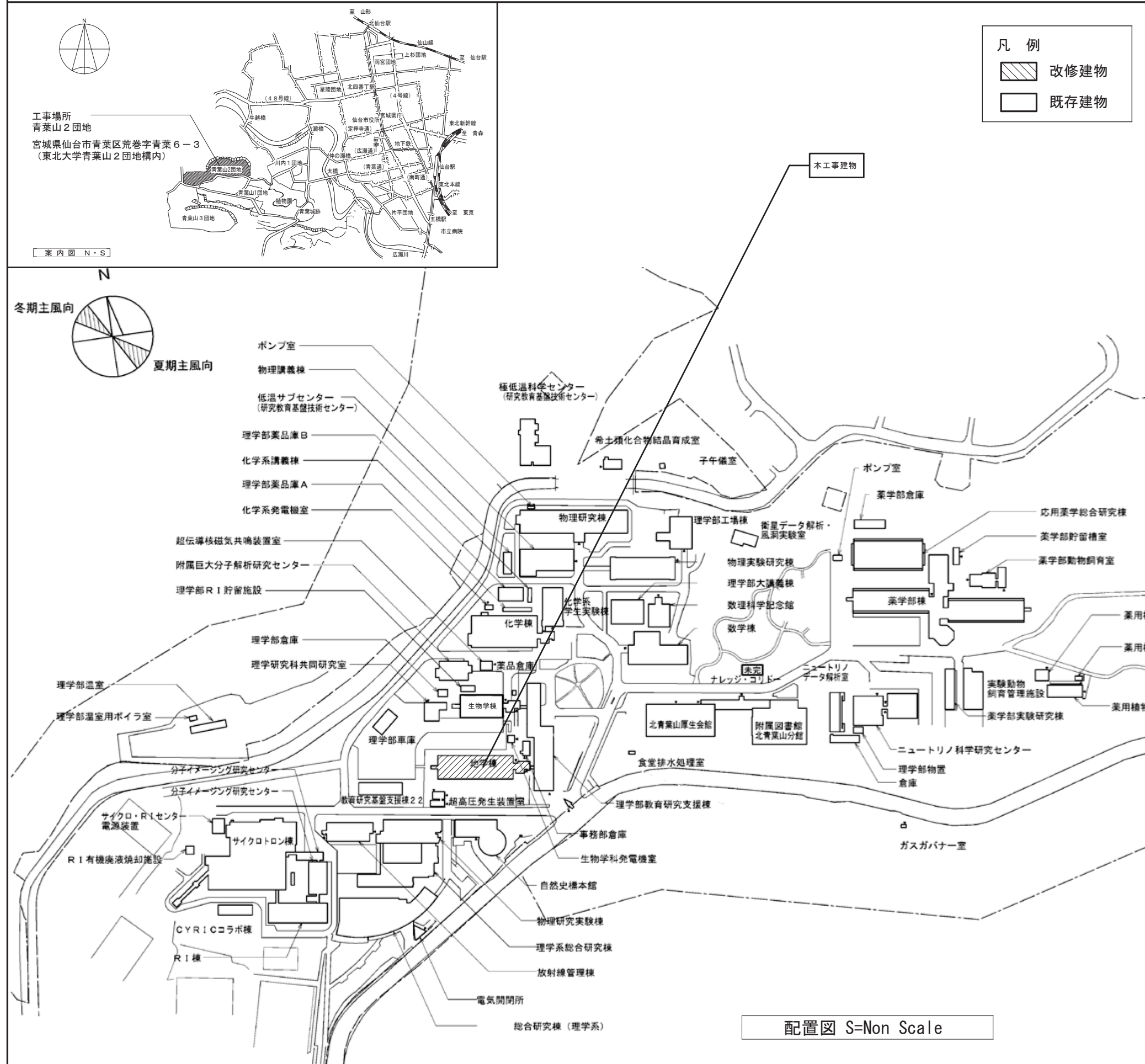


《工事概要》 東北大学(青葉山2)地学棟外部改修工事



【事業概要】

本事業は、青葉山2団地構内における地学棟の防水(施工面積：約1,700m²)及び外壁(施工面積：約4,200m²)等の外部仕上げ改修を行うものである。

【建物概要】

建物名称：地学棟

構造：鉄筋コンクリート造

階 数：地下1階、地上6階、塔屋1階

建築面積： 952m²

延べ面積： 5,730m²

改修延面積： 5,730m²

【工事概要】

工事場所：宮城県仙台市青葉区荒巻字青葉6-3

(東北大学青葉山2団地構内)

完成期限：2027年3月31日

工事内容

- ・ 防水改修

・外壁改修

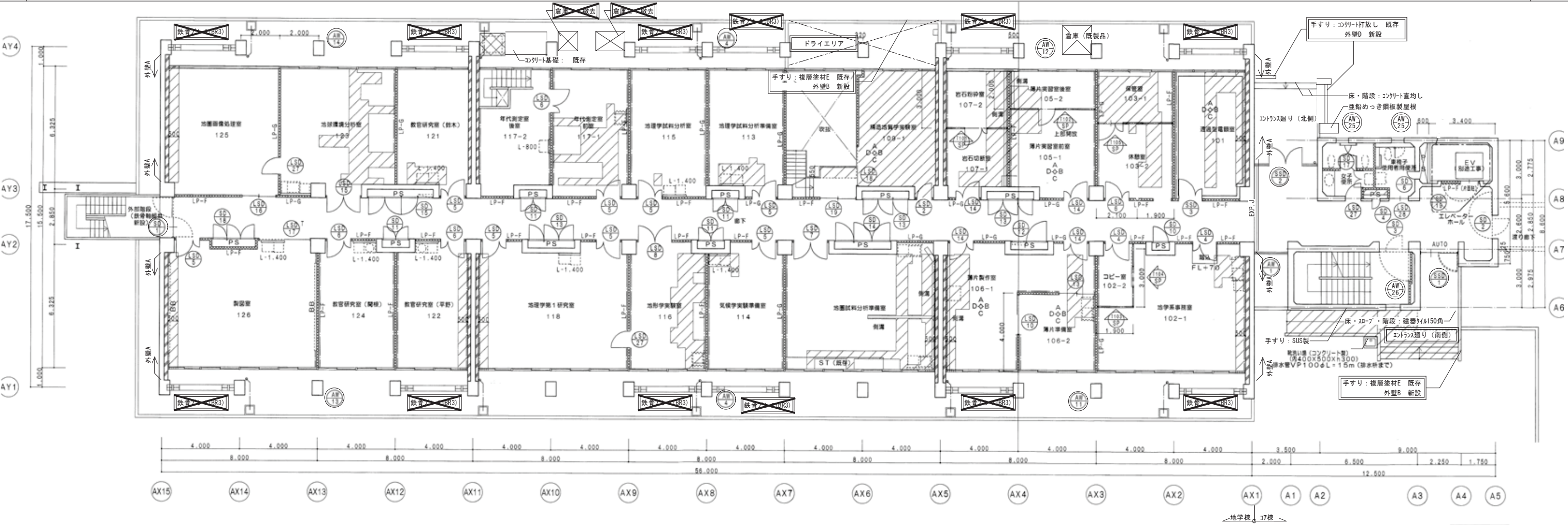
- ・ 建具改修

- ・ 塗装改修

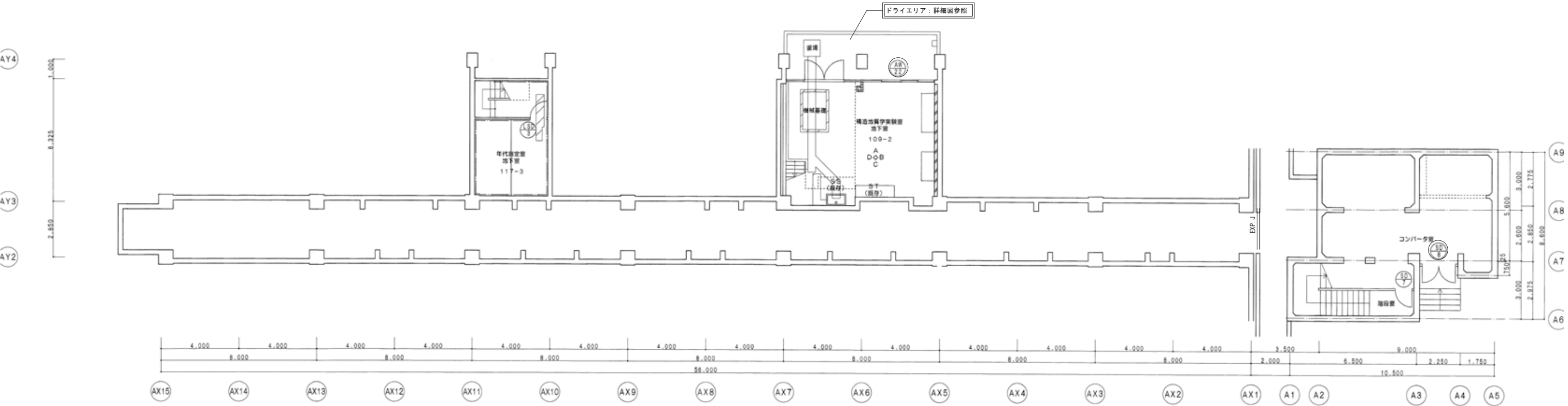
【施工条件】

- ・工事期間中、大学行事及び入試等により工事の不可日（予定日数：10日程度）及び騒音・振動作業の発生、資材等の搬入・搬出日時に対する制限がある。具体的な日時については監督職員との協議による。
- ・キャンパス内の各種施設が稼働しながらの工事であるため、騒音・振動・安全対策等を徹底すること。
- ・低騒音・低振動型の建設機械を使用し、騒音・振動の軽減をはかると共に、散水を行い粉塵の飛散防止に努めること。
- ・施工時間は、原則8時30分から17時15分までとする。ただし、下記工事は休日工事とする。
撤去工事およびアンカー等の躯体への削削を伴う作業
- ・掘削作業等を行う場合は埋設配管等を損傷させないよう調査を行った上で実施すること。
- ・8時から9時、17時から18時の一般車両の通行が多い時間帯については、工事用車両の出入りはなるべく少なくするよう配慮すること。
- ・停電、断水及び通信不通を伴う作業を行う場合は、監督職員と協議の上、作業計画書を提出し、作業開始日の1ヶ月以上前に承諾を受けること。
- ・障害物の撤去又は移設が必要な場合は監督職員と協議を行うこと。

O 1			共通事項・外部仕上表			O 2			下地凡例			O 3			塗装凡例		
			・この工事は設計図書に従い施工するが、設計図書に明示されていない事項でも、法令・機能・納り上、当然必要なものは監督員の指示に従い施工する。			・防水改修 ：屋上防水改修にあたっては、施工に必要な防水を含む。			床 ・直均しA ・モルタル ・モルタル金こて			張物下地、塗物下地、直仕上（木こて×1回、金こて×3回） タイル・石・フローリング下地（木こて） 屋内防水・敷物・張物下地（金こて）t30			・SOP ：合成樹脂調合ペイント ・CL ：クリアラッカー ・NAD ：アクリル樹脂系非水分散形塗料 ・DP1級 ：鉄部ふっ素樹脂エナメル（2-FUE） ・DP2級 ：鉄部7リリシロン樹脂エナメル（2-ASE） ・DP3級 ：鉄部8リリシロン樹脂エナメル（2-UE） ・DPA種 ：コンクリートふっ素樹脂エナメル（2-FUE） ・DPB種 ：コンクリート7リリシロン樹脂エナメル（2-ASE）		
			・本建物は、建築基準法第2条第1項9の2号の耐火建築物であり、これに基づく耐火性能等によるものとする。			・けい酸カルシウム板張り ：特記なき限り、すべて目透かし張りとする。 ・化粧けい酸カルシウム板張り ：特記なき限り、すべて目透かし張り、底目地タイプアルミジョイナー工法とする。			壁 ・打放しA ・打放しB ・打放しC ・モルタル ・GL			打放し仕上A種：（JAS 表面加工品・補修含む）塗装仕上用・タイル（接着張の場合） 打放し仕上B種：（JAS B-C・補修含む）仕上塗材・機械室（グラスウール無） 打放し仕上C種：（JAS B-C）ビット・EVシャフト・PS・EPS・DS・機械室（グラスウール有） 塗装・吹付下地（金こて） 屋内:t20 屋外:t25 石こうボードt12.5直張り工法			・EP-G ：つや有合成樹脂エマルションペイント ・EP ：合成樹脂エマルションペイント ・UC ：ウレタン樹脂ワニス 一般木部 ：B種 2回塗 フローリング：A種 3回塗 ・OS ：オイルステイン		
			・研り工事 ：既存コンクリート・モルタル・タイルを研り撤去する場合は、カッター入れて残置部分と縁切りの上研り撤去すること。			・下地補強 ：「B-D」下地に手摺等を取り付ける場合は、軽量鉄骨補強材（t2.3）により下地補強を行う事とする。 ・通り縁 ：特記なき限り塩ビ製とし、天井材が木目調の室は木製（MDF木・既製品）とする。 塩ビ製廻り縁の内、壁が曲面の場合は樹脂創建「ビニール廻り縁役物R加工品」同等品程度とする。			天 ・打放しA ・打放しB ・打放しC			打放し仕上A種：（JAS 表面加工品・補修含む）塗装仕上用・タイル（接着張の場合） 打放し仕上B種：（JAS B-C・補修含む）仕上塗材・機械室（グラスウール無） 打放し仕上C種：（JAS B-C）ビット・EVシャフト・PS・EPS・DS・機械室（グラスウール有）					
			・セルフレベリング ：直均しA下地の場合で仕上の平坦さは3mlに付き10mm以下とし、それを超える場合はセルフレベリング材にて補修を行う事とする。			・打放し仕上部にジャンカや目違い等がある場合「吉田工法表面仕上システム」にて補修を行う事とする。 上記以外のコンクリート面でジャンカや目違い等がある場合はポリマーモルタルセメントで補修する。 ・硬質塩ビ製堅種の下がり止めはとも板とし、受金物ごとに上下2個つつ接着剤を用いて固定する。 ・吊りボルト用インサート：原則既存のものを利用し、必要に応じて一部あと施工アンカーとする。 既存インサートを再利用する場合は引抜き試験を行うこと。（各階10箇所以上）			井								
O 4			仕上														
			部位			改修前			部位			改修前			改修後 ※特記なき場合、新設とする		
屋根(1)			平場 均し塩化ビニル防水層【既存】+養生塩化ビニル塗り【既存】+豆砂利コンクリート押え【既存】+塩化ビニル目地切り【既存】+塩ビ系シート防水【撤去】 立上がり 7mm防水層【既存】+レンガ押え【既存】+塩化ビニル塗【既存】+塩ビ系シート防水【撤去】 端部金物L-10×40（シリリング）とも 壁・72：ウレタン系塗膜防水【既存】 笠木 7mm笠木【既存】 手すり ステンレスφ38、FE塗【撤去】 ステンレスφ25、FE塗、@2,000【撤去】 ルーフィング 鋼鉄製鉛板付け【既存】 丸環 ステンレス製180φ【既存】、取付け用ステンレス製FB—65×12【既存】、SOP【既存】			防水A：下地調整（※リムーバブル）の上、塩ビシート防水t1.5（機械的固定工法）（S-M2） SUS製脱気筒 防水B：下地調整（※リムーバブル）の上、塩ビシート防水t1.5（接着工法）（S-F2） 端部金物L-10×40（シリリング）とも 壁・72：防水D：水洗（デックブラシ）、下地調整（※リムーバブル）の上、ウレタン系塗膜防水（X-2）			外壁 東・西面 南・北面 吹付面 柱・梁 PH部 37棟			窯変塩化ビニル（4丁掛）貼【既存】、全面施工数量調査 窯変塩化ビニル（小口）貼【既存】【一部撤去】、全面施工数量調査 コンクリート打放し【既存】+防水系※リムーバブル塗【既存】 +複層塗材E【既存】 コンクリート打放し【既存】+防水系※リムーバブル塗【既存】 +複層塗材E【既存】 コンクリート打放し【既存】+防水系※リムーバブル塗【既存】 +複層塗材E【既存】 基礎木 37棟 外部階段 階段 床 袖壁 袖壁笠木 手すり			外壁A：水洗（デックブラシ） 外壁B：面浮き部補修：注入口付アンカー・シリンジ部分塩化ビニル樹脂注入工法 注入口付アンカー・シリンジ 全面塩化ビニル樹脂注入塩化ビニル樹脂固定工法 欠損部：塩化ビニル部分張替え 補修 外壁B：水洗（デックブラシ）、下地調整（微弾性フィルター）の上、可とう型改修塗材E（薄付け仕上げ） 一部換気扇跡（37棟RF外壁） SUS製70×400×400（網付）新設		
屋根(2)			平場 塩化ビニル塗【既存】+塩ビ系シート防水【撤去】 立上がり 塩化ビニル塗【既存】+塩ビ系シート防水【撤去】 笠木 防水塩化ビニル塗【既存】+7mm笠木【既存】 飾り柵・堅種 SUS製【既存】 雨受石 コンクリート平板 300×300×60【既存】 ルーフィング 鋼鉄製鉛板付け【既存】 丸環 ステンレス製180φ【既存】、取付け用ステンレス製FB—65×12【既存】、SOP【既存】			防水C：下地調整（※リムーバブル）の上、塩ビシート防水t1.5（機械的固定工法）（S-M2） SUS製脱気筒 防水B：下地調整（※リムーバブル）の上、塩ビシート防水t1.5（接着工法）（S-F2） 端部金物L-10×40（シリリング）とも			基礎木 37棟 外部階段 階段 床 袖壁 袖壁笠木 手すり			コンクリート打ち放し【既存】 鋼製亜鉛めっき仕上げ【既存】 コンクリート製【既存】 LGS下地【既存】+7mm塩化ビニル【既存】 7mm製笠木【既存】 ステンレスφ32、亜鉛めっき+網入り透明ガラスt6.8【既存】			外壁C：水洗（デックブラシ） 下地調整（※リムーバブル）の上、ウレタン系塗膜防水		
屋根(3)			平場 ※鋼板t0.8折板葺き（山高150）【既存】 立上がり ※鋼板t0.8曲げ加工【既存】 笠木 7mm笠木【既存】 横樋 ※鋼板t0.8【既存】 堅種 φ75SUS管【既存】 軒天 7mm塩化ビニル【既存】 ルーフィング SUS製【既存】 丸環 ステンレス製180φ【既存】、取付け用ステンレス製FB—65×12【既存】、SOP【既存】			防水D：下地調整（※リムーバブル）の上、塩ビシート防水t1.5（機械的固定工法）（S-M2） SUS製脱気筒 防水B：下地調整（※リムーバブル）の上、塩ビシート防水t1.5（接着工法）（S-F2） 端部金物L-10×40（シリリング）とも			エントランス廻り（37棟南側） エントランス廻り（37棟北側） 機械基礎 鉄骨ブレース ドライリブ			床・20-F 手すり コンクリート打放し【既存】+防水系※リムーバブル塗【既存】 +複層塗材E【既存】 手摺笠木：プレキャストコンクリート【既存】+複層塗材E【既存】 SUS製【既存】 コンクリート直均し【既存】 コンクリート打放し【既存】 天端 ウレタン系塗膜防水（X-2）【既存】 ※立上りには屋根立上りと同材とする			外壁B：水洗（デックブラシ）、下地調整（微弾性フィルター）の上、可とう型改修塗材E（薄付け仕上げ） 外壁D：水洗（デックブラシ）、下地調整（O-2）の上、複層塗材RE（凹凸） 防水D：水洗（デックブラシ）、下地調整（※リムーバブル）の上、ウレタン系塗膜防水（X-2） ※立上りには屋根立上りと同材とする		
屋根(4)			鉄骨階段 ササ折：清形鋼板 [-200×80×t6.5 SOP 踏板：熱鋼板 t3.2 SOP 手すり：丸鋼管（STK）φ34×t2.3、丸鋼管（STK）φ48.6×t2.3 SOP【全て撤去】 平場 均し塩化ビニル塗【既存】+7mm防水層【既存】+養生塩化ビニル塗り【既存】+豆砂利コンクリート押え【既存】 塩化ビニル目地切り【既存】+ウレタン系塗膜防水【既存】 立上がり 7mm防水層【既存】+レンガ押え【既存】+塩化ビニル塗【既存】 +ウレタン系塗膜防水（X-2）【既存】 笠木 7mm製【既存】 （ハナグサ） 笠木 プレキャストコンクリート+複層塗材E【撤去】 機械基礎 コンクリート下地+防水塩化ビニル金こて+ウレタン系塗膜防水（X-2）【全て撤去】 庇 防水塩化ビニル金こて+複層塗材E【撤去】 ルーフィング 鋼鉄製鉛板付け【既存】 丸環 ステンレス製180φ【既存】、取付け用ステンレス製FB—65×12【既存】、SOP【既存】 ドラフ —			防水E：下地調整（※リムーバブル）の上、塩ビシート防水t1.5（機械的固定工法）（S-M2） SUS製脱気筒 防水D：水洗（デックブラシ）、下地調整（※リムーバブル）の上、ウレタン系塗膜防水（X-2） 外壁B 同材 撤去跡：均し塩化ビニル+平場同材仕上げ 天端・側面：防水D：下地調整（※リムーバブル）の上、ウレタン系塗膜防水（X-2） 軒天：水洗（デックブラシ）の上、外装薄塗材E 改修用塩化ビニル 下地調整（※リムーバブル）の上、塩ビシート防水t1.5（機械的固定工法）（S-M2） ドラフ A・B：SUS製 新設			鉄骨ブレース ドライリブ 床 壁 ドラフ C 外部建具 共通 鋼製扉 堅種 エントランス金物 屋根-屋根 屋根-外壁 外壁-外壁 外壁-コーナ トナ倉庫1・2 倉庫（既製品） 鋼製デッキ1 鋼製デッキ2 【共通】			H型鋼【既存】+FE【既存】 防水塩化ビニル金こて【既存】 コンクリート打放し【既存】+防水系※リムーバブル塗【既存】 +複層塗材E【既存】 手すり笠木：プレキャストコンクリート【既存】+複層塗材E【既存】 鋼製埋込型 φ22 W400【既存】 建具廻りシリリング（MS-2 10×10）【撤去】 SOP塗【既存】 SUS製【既存】 7mm製 W750（シリリング用）【撤去】 7mm製 W350（シリリング用） 7mm製 W160（シリリング用）【既存】 7mm製 W100+36（シリリング用）【既存】 波板鉄板t0.19、柱・つなぎ材：□-40×40×t1.6【既存】 既存のまま CH. PL-4.5、手すり：□-30×50×t1.6【既存】 CH. PL-4.5、手すり：□-30×50×t1.6【既存】			下地調整（※リムーバブル）の上、塩ビシート防水 外壁B：水洗（デックブラシ）、下地調整（微弾性フィルター）の上、可とう型改修塗材E（薄付け仕上げ）（手すり笠木とも） 下地調整（※リムーバブル）の上、塩ビシート防水 建具廻りシリリング（MS-2 15×10） 下地調整（※リムーバブル）の上、塩ビシート防水 7mm製 W750（シリリング用） 7mm製 W350（シリリング用） 7mm製 W160（シリリング用） 7mm製 W100+36（シリリング用） 波板鉄板t0.19、柱・つなぎ材：□-40×40×t1.6【既存】 既存のまま CH. PL-4.5、手すり：□-30×50×t1.6【既存】 CH. PL-4.5、手すり：□-30×50×t1.6【既存】		
屋根(5)・(6)			平場 均し塩化ビニル塗【既存】+7mm防水層【既存】+養生塩化ビニル塗り【既存】+豆砂利コンクリート押え【既存】 塩化ビニル目地切り【既存】+ウレタン系塗膜防水【既存】 立上がり 7mm防水層【既存】+レンガ押え【既存】+塩化ビニル塗【既存】 +ウレタン系塗膜防水【既存】 笠木 プレキャストコンクリート【既存】+7mm製笠木【既存】 ルーフィング 鋼鉄製鉛板付け【既存】			防水A：下地調整（※リムーバブル）の上、塩ビシート防水t1.5（機械的固定工法）（S-M2） SUS製脱気筒 防水B：下地調整（※リムーバブル）の上、塩ビシート防水t1.5（接着工法）（S-F2） 端部金物L-10×40（シリリング）とも			トナ倉庫1・2 倉庫（既製品） 鋼製デッキ1 鋼製デッキ2 【共通】			波板鉄板t0.19、柱・つなぎ材：□-40×40×t1.6【既存】 既存のまま CH. PL-4.5、手すり：□-30×50×t1.6【既存】 CH. PL-4.5、手すり：□-30×50×t1.6【既存】			下地調整（※リムーバブル）の上、塩ビシート防水 外壁B：水洗（デックブラシ）、下地調整（微弾性フィルター）の上、可とう型改修塗材E（薄付け仕上げ）（手すり笠木とも） 下地調整（※リムーバブル）の上、塩ビシート防水 建具廻りシリリング（MS-2 15×10） 下地調整（※リムーバブル）の上、塩ビシート防水 7mm製 W750（シリリング用） 7mm製 W350（シリリング用） 7mm製 W160（シリリング用） 7mm製 W100+36（シリリング用） 波板鉄板t0.19、柱・つなぎ材：□-40×40×t1.6【既存】 既存のまま CH. PL-4.5、手すり：□-30×50×t1.6【既存】 CH. PL-4.5、手すり：□-30×50×t1.6【既存】		
屋根(7) エントランス			平場 防水塩化ビニル塗【既存】+ウレタン系塗膜防水（X-2）【既存】 増設部：木毛塩化ビニル板t25【既存】+7mm防水層+シリリング22kg【既存】+※7mm板—文字葺きt0.8【既存】 立上がりA コンクリート打放し【既存】+複層塗材E【既存】 立上がりB ※7mm製板【既存】+ウレタン系塗膜防水（X-2）【既存】 笠木 増設部（鼻隠し・内樋とも）：7mm板t1.5折り曲げ加工【既存】 ルーフィング 除塵目皿SUS製φ75【既存】 軒天 7mm塩化ビニル【既存】 コンクリート打放し【既存】+防水系※リムーバブル塗【既存】+複層塗材E【既存】			防水D：水洗（デックブラシ）、下地調整（※リムーバブル）の上、ウレタン系塗膜防水（X-2） 増設部：— 既存塗膜除去（ササ工法）、防水E：下地調整（※リムーバブル）の上、ウレタン系塗膜防水（X-2） 防水D：水洗（デックブラシ）、下地調整（※リムーバブル）の上、ウレタン系塗膜防水（X-2） — — R部：既存塗膜除去（ササ工法）の上、外装薄塗材E 防水D：水洗（デックブラシ）、下地調整（※リムーバブル）の上、ウレタン系塗膜防水（X-2） 防水D：水洗（デックブラシ）、下地調整（※リムーバブル）の上、ウレタン系塗膜防水（X-2）（天端とも） 既存塗膜除去（ササ工法）、外装薄塗材E 側面：外壁B 水洗（デックブラシ）、下地調整（微弾性フィルター）の上、可とう型改修塗材E（薄付け仕上げ） 改修用塩化ビニル			外部コンクリート面 コンクリート面（床・壁・天井） 全面施工数量調査 外壁目地 シリリング（MS-2 15×10）【撤去】 シリリング（PS-2 15×10）			コンクリート面（床・壁・天井） 全面施工数量調査 外壁目地 シリリング（MS-2 15×10） シリリング（PS-2 15×10）					
屋根(8)			平場 防水塩化ビニル塗【既存】+ウレタン系塗膜防水（X-2）【既存】 立上がり 防水塩化ビニル塗【既存】+ウレタン系塗膜防水（X-2）【既存】（天端とも） 軒天 コンクリート打放し【既存】+防水系※リムーバブル塗【既存】 （側面とも） +複層塗材E【既存】 ルーフィング 鋼鉄製鉛板付け【既存】			防水D：水洗（デックブラシ）、下地調整（※リムーバブル）の上、ウレタン系塗膜防水（X-2） 防水D：水洗（デックブラシ）、下地調整（※リムーバブル）の上、ウレタン系塗膜防水（X-2） 防水E：下地調整（※リムーバブル）の上、ウレタン系塗膜防水（X-2） 既存塗膜除去（ササ工法）の上、外装薄塗材E			外部コンクリート面 コンクリート面（床・壁・天井） 全面施工数量調査 外壁目地 シリリング（MS-2 15×10） シリリング（PS-2 15×10）			コンクリート面（床・壁・天井） 全面施工数量調査 外壁目地 シリリング（MS-2 15×10） シリリング（PS-2 15×10）					
エントランス床			平場 防水塩化ビニル塗【既存】+ウレタン系塗膜防水（X-2）【既存】 立上がり 防水塩化ビニル塗【既存】+ウレタン系塗膜防水（X-2）【既存】 梁天端 防水塩化ビニル塗【撤去】 軒天 コンクリート打ち放し【既存】+複層塗材E【既存】			防水D：水洗（デックブラシ）、下地調整（※リムーバブル）の上、ウレタン系塗膜防水（X-2） 防水D：水洗（デックブラシ）、下地調整（※リムーバブル）の上、ウレタン系塗膜防水（X-2） 防水E：下地調整（※リムーバブル）の上、ウレタン系塗膜防水（X-2） 既存塗膜除去（ササ工法）の上、外装薄塗材E			外部コンクリート面 コンクリート面（床・壁・天井） 全面施工数量調査 外壁目地 シリリング（MS-2 15×10） シリリング（PS-2 15×10）			コンクリート面（床・壁・天井） 全面施工数量調査 外壁目地 シリリング（MS-2 15×10） シリリング（PS-2 15×10）					

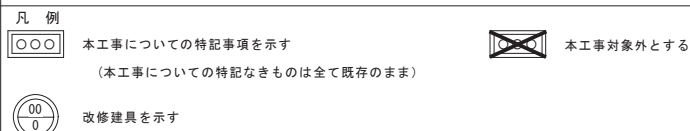


1 階

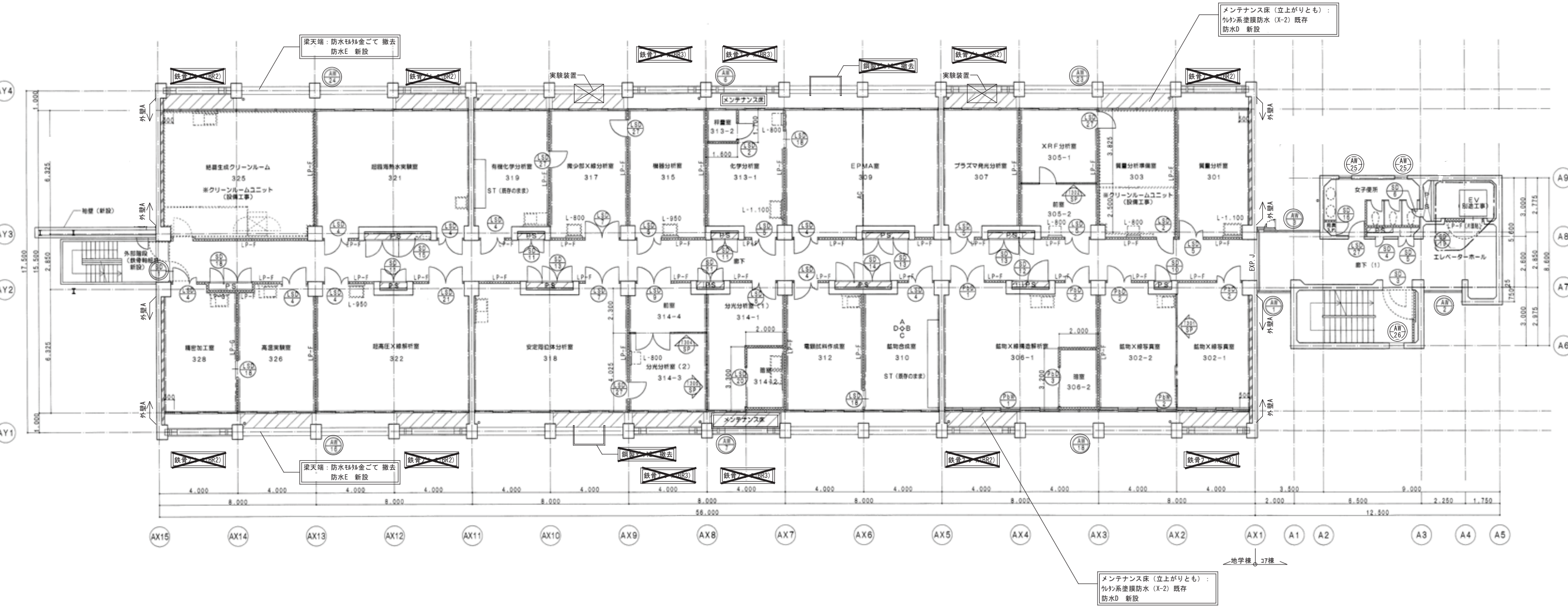


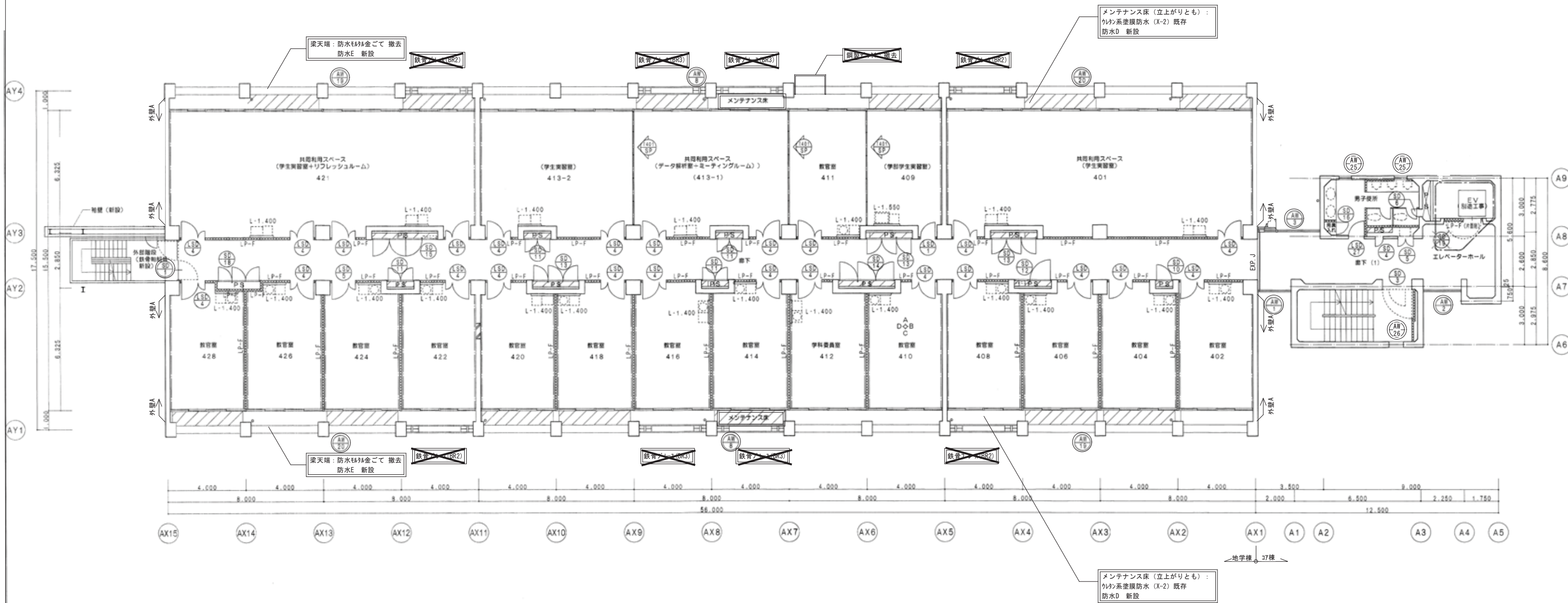
地下1階

例		〇〇〇 本工事についての特記事項を示す (本工事についての特記なきものは全て既存のまま)		 本工事対象外とする	
 改修建具を示す		設計名称 東北大学(青葉山2)地学棟外部改修設計業務		設計者 工事名称 東北大学(青葉山2)地学棟外部改修工事	
		図面名称		一級建築士 大臣登録第284436号 赤沼 直幸	
		縮 尺		設計年月	
		年 月		2026年 9月	
		設計番号		東北大学 施設部	
		図面番号		図面番号	
		一級建築士事務所 SOWA 鋭 和技術研究所 宮城県仙台市青葉区 第22910116号		設計者/ 承認/赤沼 直幸 一級建築士 第284436号 赤沼 直幸 図面/佐々木 守	
				東北大学 施設部	
				通し番号	



設計名称 東北大学(青葉山2)地学棟外部改修設計業務				設計者 一級建築士 大臣登録第284436号 赤沼 直幸		工事名称 東北大学(青葉山2)地学棟外部改修工事				縮尺 A1:1/100 A3:1/200	
図面名称				図面名称 【改修後】2階平面図、建具キープラン							
縮 尺		年 月		設計番号		図面番号		設計年月		図面番号	
 一級建築士事務所 設計 相和技術研究所 〒920-0012 石川 金沢市 西条 柳太		承認/ 赤沼 直幸 監査/ 佐々木 守		設計者/ 一級建築士 第284436号 赤沼 直幸		製図/ 西条 柳太		2026年 9月		東北大学 施設部	
										通し番号	

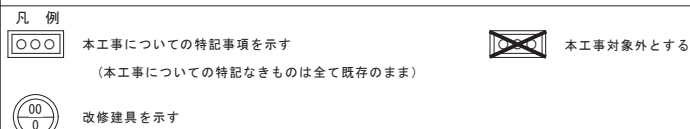




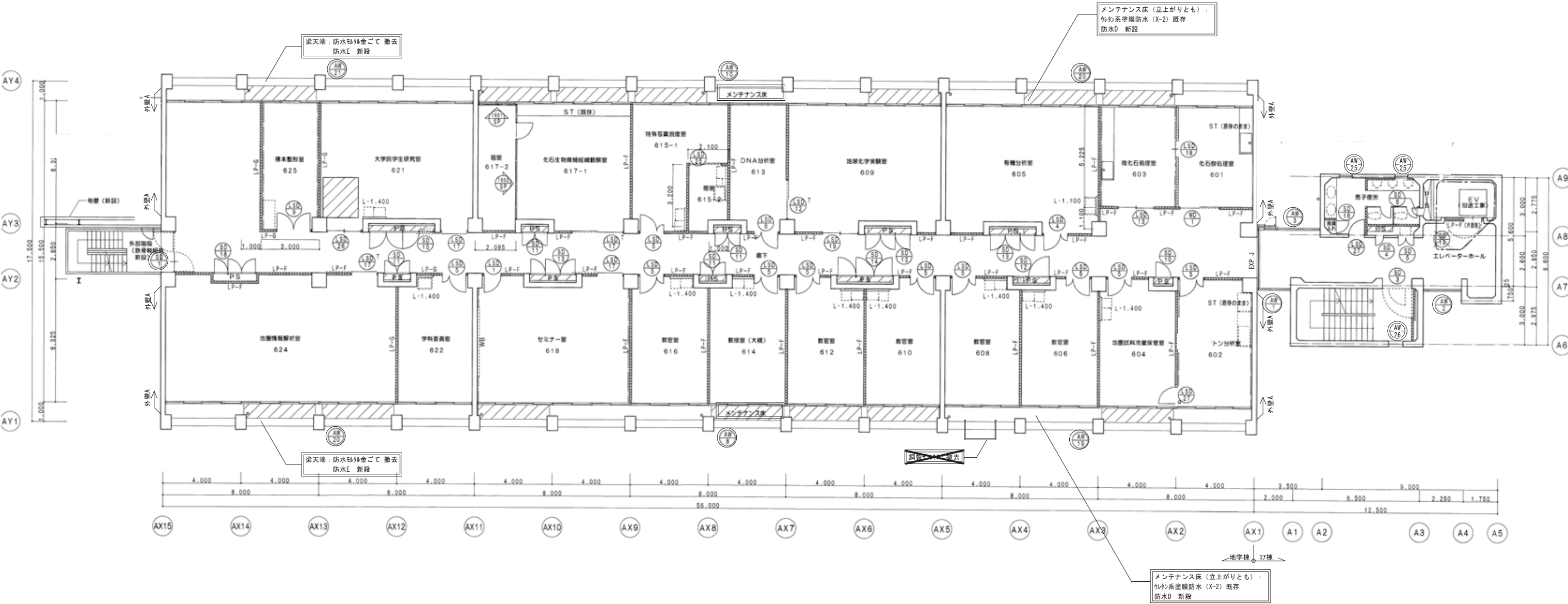
凡 例
〇〇〇 本工事についての特記事項を示す
(本工事についての特記なきものは全て既存のまま)
00 改修建具を示す

本工事対象外とする

設計名称 東北大学(青葉山2)地学棟外部改修設計業務				設計者 一級建築士 大臣登録第284436号 赤沼 直幸		工事名称 東北大学(青葉山2)地学棟外部改修工事				縮尺 A1:1/100 A3:1/200	
図面名称				図面番号		図面名称 【改修後】4階平面図、建具キープラン					
縮 尺		年 月		設計番号		図面番号		設計年月		図面番号	
一級建築士事務所 SOWA 鋭根和技術研究所 宮城県仙台市青葉区 第22910116号				承認/赤沼 直幸		設計者/一級建築士 第284436号 赤沼 直幸		監図/西島 裕太		図面番号	
				2026年 9月		東北大学 施設部				通し番号	

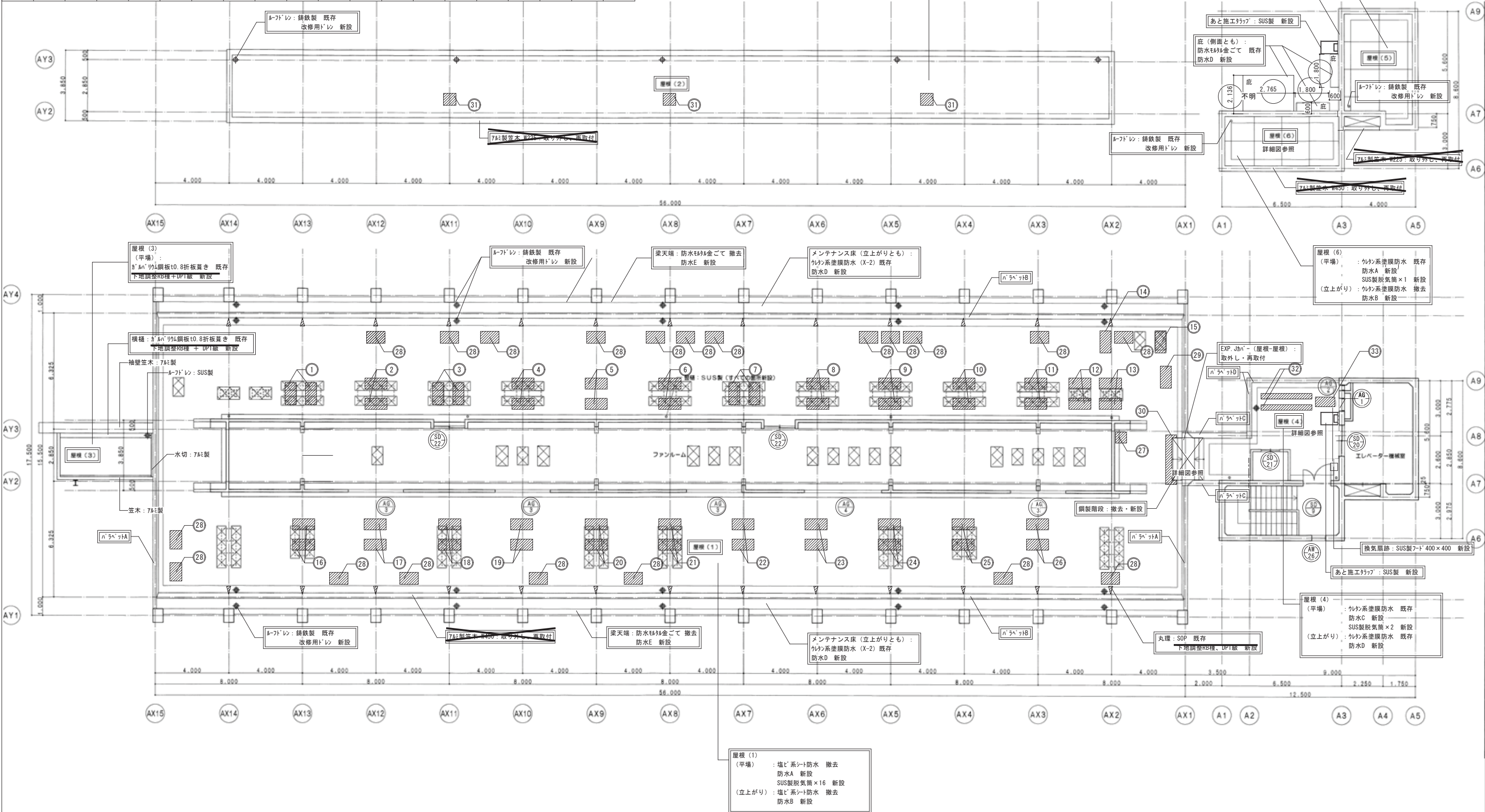


設計名称 東北大学(青葉山2)地学棟外部改修設計業務				設計者 一級建築士 大臣登録第28443号 赤田 直幸		工事名称 東北大学(青葉山2)地学棟外部改修工事				縮尺 A1:1/100 A3:1/200	
図面名称				図面名称 【改修後】5階平面図、建具キープラン							
縮 尺		年 月		設計番号		図面番号		設計年月			
 一級建築士事務所 註 相 和 技 術 研 究 所		承諾/赤田 直幸 照査/松々 大 司		設計者/ 一級建築士 第28443号 赤田 直幸 実印		製図/ 松々 祐太					
				2026年 9月		東北大学 施設部				図面番号	
										通し番号	



凡 例		改修建具を示す		改修対象外とする	
〇〇〇 本工事についての特記事項を示す (本工事についての特記なきものは全て既存のまま)		〇〇 改修建具を示す		✕ 本工事対象外とする	
設計名称 東北大学(青葉山2)地学棟外部改修設計業務		設計者 一級建築士 大田 登 直 幸 赤沼 直 幸		工事名称 東北大学(青葉山2)地学棟外部改修工事 図面名称 【改修後】6階平面図、建具キープラン	
図面名称 6階平面図、建具キープラン		設計年月 2026年 9月		縮尺 A1:1/100 A3:1/200	
縮 尺 年 月 設計番号 図面番号		設計者 一級建築士 大田 登 直 幸 赤沼 直 幸		図面番号 2026年 9月	
一級建築士事務所 SOWA 設計技術研究所 宮城県仙台市青葉区 第22010110号		東北大学 施設部		図面番号 通し番号	

機械基礎																			
符号	W	D	H	箇所数	符号	W	D	H	箇所数	符号	W	D	H	箇所数	符号	W	D	H	箇所数
(1)	1200	600	450	2	(11)	1300	500	450	2	(21)	1300	500	450	2	(31)	680	680	350	3
(2)	1200	500	450	2	(12)	1200	600	450	2	(22)	500	500	450	2					
(3)	1200	750	450	2	(13)	1300	500	450	2	(23)	1300	500	450	2					
(4)	1500	500	450	2	(14)	1200	950	450	1	(24)	1300	500	450	2					
(5)	1300	500	450	2	(15)	1200	900	450	1	(25)	1300	500	450	2					
(6)	1300	500	450	2	(16)	1300	500	450	2	(26)	1350	500	450	2	機械基礎 撤去				
(7)	1200	75	450	2	(17)	1300	500	450	2	(27)	600	400	450	1	(32)	2770	300	250	2
(8)	1300	500	450	2	(18)	1300	500	450	2	(28)	600	400	450	20	(33)	530	1050	60	1
(9)	1300	500	450	2	(19)	1300	500	450	2	(29)	900	700	450	1					
(10)	1200	500	450	2	(20)	1300	500	450	2	(30)	1870	600	230	1					



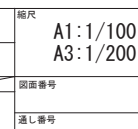
凡 例	
	本工事についての特記事項を示す (本工事についての特記なきものは全て既存のまま)
	本工事対象の機械基礎を示す


 改修建具を示す


 本工事対象外とする

設計名称	東北大学(青葉山2)地学棟外部改修設計業務				
図面名称					
縮 尺	年 月	設計番号	図面番号		
 一級建築士事務所 森 根 和 技術研究所 宮城県仙台市青葉 区22910116号	承認/承認 番号		設計者/ 一級建築士 第28403号 赤沼 肇	製図/ 西巻 樹太	
	監製/監製 番号				

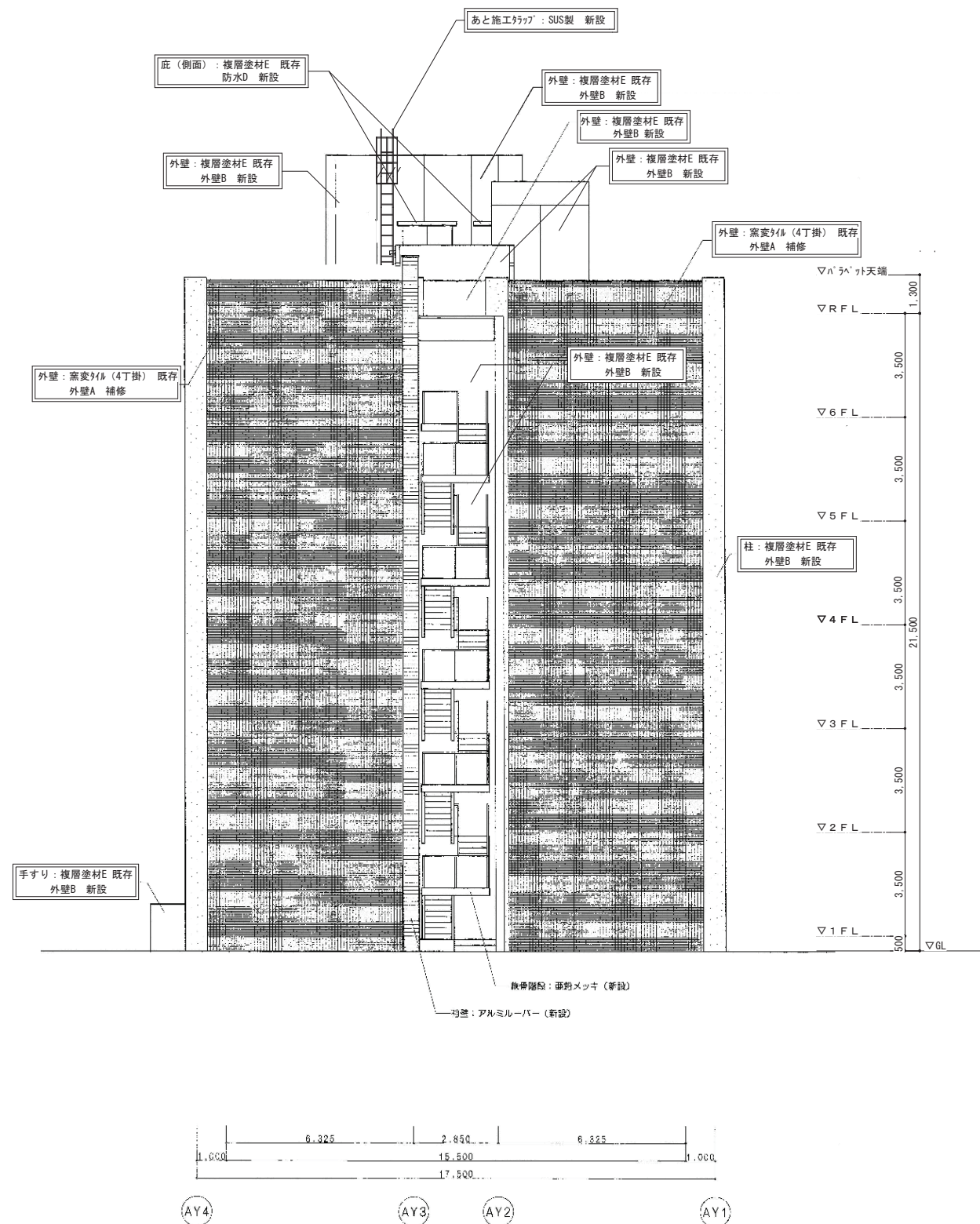
設計者 一級建築士 大臣登録第204436号 赤沼 直幸	工事名称 東北大学(青葉山2)学棟外壁改修工事 図面名称 【改修後】R階・P H階平面図、建具キープラン	縮尺 A1:1/100 A3:1/200
設計年月 2026年 9月	東北大学 施設部	図面番号 通し番号





 本工事対象外とする

設計名称 東北大学(青葉山2)地学棟外部改修設計業務				設計者 一級建築士 大田登録第284436号 赤沼 直幸		工事名称 東北大学(青葉山2)地学棟外部改修工事				縮尺 A1:1/100 A3:1/200							
図面名称						図面名称 【改修後】北立面図											
縮 尺		年 月		設計番号		図面番号		設計年月				図面番号					
		一級建築士事務所 霞 相和技术研究所 宮城県知事登録 第Z291116号		承認/赤沼 直幸		設計者/ 一級建築士 第284436号 赤沼 直幸		監制/ 西巻 裕太				2026年 9月		東北大学 施設部		通し番号	
		測量/佐々木 亨															



西立面图

【改修後】凡例 外壁A：高圧水洗工法 外壁94%面浮き部補修：アールビツソング®部分B 杉樹脂注入工法 注入口付アールビツソング®全面B 杉樹脂注入94%固定工法 欠損部：94%部分張替え 外壁B：水洗工法（高圧ホース）、下地調整（微弾性74-9）の上 可とう型改修塗材E（薄付け仕上げ） 外壁C：水洗工法（高圧ホース）、下地調整（微弾性74-9）の上、~~複層塗材F77塗装~~ 外壁D：水洗（シャワー）、下地調整（C-2）の上、複層塗材E（凹凸）	1 330 AY1
---	--------------------------------

凡 例

	本工事についての特記事項を示す		本工事対象外とする
(本工事についての特記なきものは全て既存のまま)			

設計名称 東北大学(青葉山2)地学棟外部改修設計業務				設計者 一級建築士 大臣登録第284436号 赤沼 直幸		工事名称 東北大学(青葉山2)地学棟外部改修工事										縮尺 A1:1/100 A3:1/200							
図面名称						図面名称 【改修後】東・西立面図																	
縮 尺		年 月		設計番号		図面番号		設計年月												図面番号			
SOWA 一級建築士事務所 設計相技術研究所 定款株式会社 〒100-0001 東京都千代田区千代田1-1-1 電話 03-5561-1111 FAX 03-5561-1112				承認/赤沼 直幸		設計者/ 一級建築士 第284436号 赤沼 直幸		製図/ 西巻 裕太		2026年 9月		東北大学 施設部										通し番号	



 本工事対象外とする

設計名稱 東北大学(青葉山2)地学棟外部改修設計業務				設計者 一級建築士 大臣登録第284436号 赤沼 直幸		工事名称 東北大学(青葉山2)地学棟外部改修工事				組織 A1:1/50 A3:1/100	
図面名称				図面名称 【改修後】矩計図							
縮 尺		年 月		設計番号		図面番号					
一級建築士事務所  設計・構想と技術研究所 京浜東北線青葉駅 赤沼直幸設計室				承認/赤沼 直幸 一級建築士 第284436号 赤沼 直幸 縮尺/他々未定		設計者/ 一級建築士 第284436号 赤沼 直幸 縮尺/他々未定		製図/ 青沼 裕太			
2026年 9月				設計年月		東北大学 施設部					
										図面番号	
										通し番号	